



ナイス福岡 会報

自然感

# くすのき

2026年03月

第368

号



菫 山猫目草 薩摩稻森 長葉紅葉苺 天狗蝶 紫華鬘 aiko.

○ 小さな草花が、あちこちに顔を見せ始める季節。こんな時は、ルーペが必需品ですね。

ビックリな発見があるかも。 aiko.

## 都市公園で自然観察会 県立春日公園での自然観察会(169回)

日時：2026年03月28日(土)10時から12時まで (今月は第4土曜日に変更)

集合場所：公園の中央付近にある自然あそび館

春日公園そばの池 2026年2/21 撮影:田字草



「問い合わせ先」 担当: 田村耕作 Tel 090-8220-6160

参加費 会員200円 一般 300円

**注意** 各団体とも、様々な状況により、下記の予定も当日でも変更になることがあります。詳しくは各団体にお問い合わせください。

**日本野鳥の会 福岡支部 主催** ※一般参加費：300円（中学生以下無料） 問合せ先090-8220-6160（田村耕作）

<p>3月15日（日）4月18日（土） 天拝山探鳥会（筑紫野市） 時間：9:00～12:00 集合：天拝山歴史自然公園</p>	<p>3月22日（日）4月26日（日） 久末ダム探鳥会（福津市） 時間：9:00～12:00 集合：久末ダム多目的広場横 駐車場（管理事務所下）</p>	<p>4月5日（日） 今津探鳥会（福岡市西区） 時間：9:00～12:00 集合：新西部水処理センター駐車場 <b>今までと変わりました</b></p>
<p>4月11日（土） 大濠公園（福岡市） 時間：9:00～12:00 集合：ポート乗り場前</p>	<p>4月12日（日） 和白海岸探鳥会（福岡市東区） 時間：9:00～12:00 集合：JR 和白駅前の公園</p>	<p>4月7日（火） 県営春日公園（春日市） 時間：10:00～12:00 集合：音楽堂ステージ側（第5P）</p>



**三国丘陵の自然を楽しむ会 主催**

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

<p>4月4日（第1土曜日） 集合：九州歴史資料館 第一駐車場 時間：9:30～11:30 問合せ：092-920-3072（松永） コロナ対策：ブログにて確認 ブログ「三国丘陵の自然を楽しむ会」で <b>検索</b></p>
---

**福岡植物友の会**

**日本野鳥の会 筑後支部**

詳細はお問合せください。  
中小路 香（092-864-7585）  
参加は有料 要予約

3月22日（日）  
久留米城址・筑後川（久留米市）  
時間：9:00～12:00  
集合：河川敷駐車場  
問合せ：090-4357-3043（溝田泰博）

**久留米の自然を守る会**

5月16日（土）  
樹木の名札付け  
高良山南面コース予定  
詳細はお問い合わせください  
問合せ：0942-43-7959（河内俊英）



**和白干潟を守る会**



3月28日（土）  
定例会議  
時間：12:00～14:00  
集合：和白干潟を守る会事務所  
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

3月28日（土）  
クリーン作戦と自然観察会  
時間：15:00～17:00  
集合：海の広場 駐車場なし  
長靴・軍手があると便利  
問合せ：090-1346-0460（田辺）

2026年2月  
私のデジカメ日誌より  
本のむし

2月1日(旧暦12月14日) ~2月31日(旧暦1月12日) までの  
デジカメ日誌です。(文・写真 本のむし)



2/1(旧 12/14)那珂川市仲  
松木のカクチガ浦  
10号墳遺跡出土の  
馬型埴輪。尾を紐  
で巻いて、大切にし  
ていたことが伺え  
る。可愛い。仔馬な  
のかな。



2/1(旧 12/14)那珂川市仲  
道善の妙法寺遺跡出土の炭化樹  
木。9万年前の阿蘇4火砕流是那  
珂川市に及んでいたんですね。

2/1(旧 12/14)那珂川市仲 現人神社のクスノキ。巨樹のリストには入っていないが、樹齢千年という説も。アオバズクの来る大切な樹だ。将来この樹一本で森と呼ばれる日が来るのかな。



2/2(旧 12/15)筑紫野市天拝坂  
雨上がり。カササギが羽繕い。首  
から背中にかけての黒い羽と両側  
の白い肩羽が蓑のように見える。



2/5(旧 12/18)筑紫野市天拝坂  
庭の梅が開いていた。太宰府天  
満宮のとび梅は今年は1月19日  
であったので半月ほど後だ。



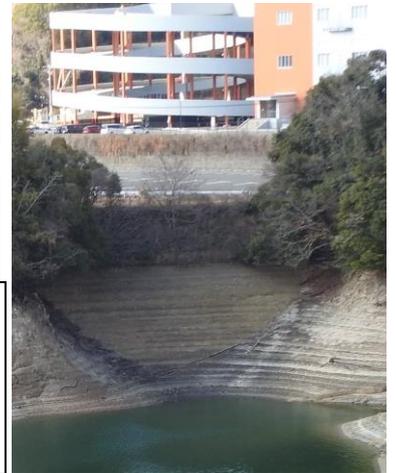
2/6(旧 12/19)筑紫野市天拝坂  
ツグミがぼつんと羽を休めてい  
た。今年はシロハラも殆んど見  
けない。何が影響しているのか。



2/11(旧 12/24)筑紫野市塔原  
南 ヨシガモみ。三列風切羽が長  
く長く、白黒の飾り羽が水面で面  
白いデザインを作っていた。



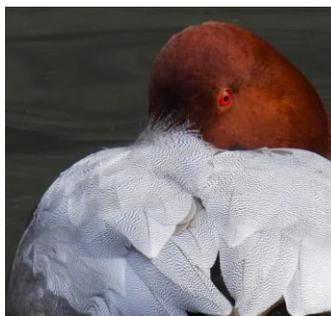
2/11(旧 12/24)筑紫野市山口天拝湖 福岡県の主要ダムの貯水率平均 43.1%。別に天拝湖 44%。※福岡市は、昭和 53 年(1978)と平成 6 年(1994)に大渇水を経験した。その機会に筑後川の水を、福岡市等に安定供給すべく、1999年に山口調整池が作られたのが天拝湖である。右の写真で樹木が池にせり出しているところが正常時の水面。そこから約 30m以上干上がった崖の底にオシドリの小群が休んでいた。餌となるドングリははるか上。月末に多少の雨が降ったが、天拝湖の貯水率は 27 日で 36%とより深刻であった。



2/12(旧 12/25)筑紫野市天拝坂  
今冬は虫も少ない。胸部の  
背中に二本の線が見えるので、  
フタスジヒラタアブ♀か。



2/13(旧 12/26)筑紫野市天拝坂  
お隣のロウバイが咲いた。蠟梅と  
書くがローソクにはならないが、  
皮膚の軟膏にはなるらしい。



2/15(旧 12/28)福岡市中央区  
ホシハジロみ。虹彩は赤。カモの  
虹彩色は、茶、黄、灰、青、白等  
様々。メラニン色素の差らしい。



2/26(旧 1/10)筑紫野市天拝坂  
スミレが1輪咲いた。毎年玄関先で  
春を感じさせてくれるオトメスミレ。  
距の紫の故か、花言葉は「奥床し」

くすのき 2026年3月号投稿原稿-本のむし

Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

※ 筑紫野市山口調整池(天拝湖)の貯水率 福岡導水 <https://www.water.go.jp/chikugo/fukudou/html/info02.html>

# 春日公園自然観察会 令和8年2月21日(土)【参加者】6人【担当】、田村耕作

観察は、自然あそび館～芝生広場・調整池を巡り～噴水の広場を経て自然あそび館にもどった。  
観察内容 晴れ、9℃で開始。終了時は17℃でした。暖かさより暑さを感じた2月下旬の冬の日でした。  
冬芽を中心にいろいろな生きものを観察した中で、主な種類を示します。

植物 ノキシノブ(孢子囊)、ユズリハ、クヌギと虫こぶ(クヌギハケタマフシ)、イロハカエデ、ケヤキ、ニシキギ、アジサイ、モクレン、イチヨウ、タブノキ、レンギョウ、ソメイヨシノ、ユキヤナギ、スズカケノキと実、サザンカ(花)、アマナ、アキノレ

野鳥 カワウ、カワセミ、スズメ、ヤマガラ、ウグイス、ヒヨドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、キジバト、シジュウカラ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ダイサギ、コサギ、シロハラ、ツグミ、ジヨウビタキ、マガモ、アヒル、ムクドリ、カワラバト、ハシビロガモ、ヘラサギ(7)。社池の記録を含む

## 感想(参加者、その場の声)

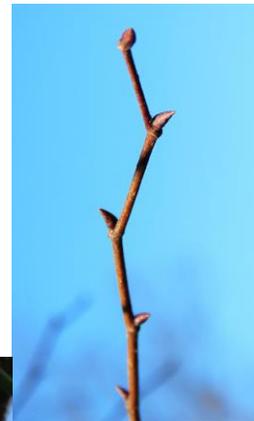
- ・スズカケノキの実、其の形状が面白かった。この実は、親の木から、どういう仕組みで落下するのか、知りたかった。
- ・アマナの新芽、齧るとほんの少し甘さを感じた。
- ・冬芽、それぞれに形、大きさの違いが観察できた。
- ・今回のテーマは、木の芽の観察。昨年の今頃も同じテーマで、桜の木の芽の観察をしたおかげで、今年は、花芽と葉芽を観察して楽しんでいます。木々や草の芽には、いろいろな冬対策が見られ寒さに耐える逞しい戦略に 毎回驚きと共にしたたかさを感じます。

観察会開始

クヌギの冬芽

クヌギの葉上のクヌギハケタマフシ

ケヤキの冬芽



スズカケノキの実(種子)

サザンカの花蜜(沢山ありました) ノキシノブの孢子囊



撮影：田村耕作

以上

## 冬芽に宿る「生きる覚悟」 ～2月21日春日公園自然観察会～

岩井結友美

編集部：この日の観察会は、くすのきの幹に生えているこの植物への疑問から始まりました。

春の足音が聞こえ始めた園内、植物たちが冬を越すために用意した驚くほど緻密な「生きるための知恵」を目の当たりにしました。



## 守りの造形、攻めの構造

一見、枯れ枝のように見える木々も、その先には次世代を繋ぐための「仕掛け」が凝縮されています。

- ・ **コートを纏う芽:** コブシの冬芽は、ふかふかの白い毛で覆われ、まるで厚手のコートを着ているようです。この繊細な毛が、急激な温度変化や乾燥から花の赤ちゃんを懸命に守っています。

- **混芽と裸芽の不思議**：一つの芽の中に花と葉の両方を詰め込んだ「混芽」の効率性。一方で、鱗片を持たず身一つで寒さに立ち向かう「裸芽」の潔さ。なぜ裸芽で平気なのか。実は、表面に密生した細かな毛が空気の層を作り、自らを保温しているそうです。その繊細な構造には、生命の執念すら感じます。



### 📖 スズカケノキ、一粒の旅路

観察会のクライマックスは、スズカケ（プラタナス）の実でした。割ってみると、中からは「ふわふわ」とした綿毛付きの種が、驚くほどたくさん溢れ出しました。この綿毛は、風に乗って新天地へ旅立つためのパラシュートです。親木の下を離れ、少しでも条件の良い場所へ。その膨大な種のうち「ひとつでも発芽したら成功だ」という過酷な生存競争。一粒に託された願いの重さに、参加者からも感嘆の声が上がりました。

### 🌟 自然から学ぶ、命の重なり

これらの工夫を目の当たりにすると、自然界も私たち人間も、生きる仕組みの本質は同じだと感じずにはられません。かつて人間も、過酷な環境の中で命を繋ぐこと自体が奇跡の連続でした。今、私たちが自分に合った生き方を選択できるのは、先人たちが繋いできた「生き残れた」という結果の上に立っているからでしょう。

### 🌟 「ひとつでも発芽したら成功だ」という植物の覚悟 🌟

それは、私たちが今ここに存在していることの尊さを静かに教えてくれます。足元の小さな芽に宿る、この力強い生命のバトンを、これからも大切に見守っていきたいと思います。

## 会員からの感想

- 2/14 くすのき2月号ありがとうございました。3日ほど前、筑後川沿いを歩いていたら河川敷に集結していたヒドリガモの大集団に遭遇、一斉に飛び上がって筑後川に着水しました。圧巻でした。溝口
- 2/17 志賀です。くすのきをありがとうございました。みなさまの写真、視点、いろいろで面白いですね。毎月思いますが、永松さんのイラスト、色使いがすばらしいと思います。スタッフにも転送して紹介します。イベント情報でちょうどいいものは、私たちのメルマガにも転載させていただきますね。よろしくお願いいたします。

## 会員からの投稿 (1) 橋川夫妻の我が家の自然観察日記 ー春近しー

2月になって日も長くなり春が着実に近づいてきました。暖かい日差しに誘われて越冬していたチョウが元気に飛び回る姿を見ると嬉しくなります。スジグロシロチョウも早くも羽化しピワの花を訪れていました。

ミヤマウグイスカグラはすでに開花。マンサクも丸まっていた黄色い花弁を延ばして春の陽をいっぱい受けていました。

我が家の1階のテラスと2階のベランダの掃き出し窓によく野鳥がぶつかります。2月26日にシロハラの斃死体を見つけました。過年分も紹介します。

写真1 キタテハ (2月21日)

写真2 ムラサキツバメ (メス ムラサキシジミとともに数匹が群れて飛び回っていました。2月21日)

写真3 テングチョウ (2月21日)

写真4 ミヤマウグイスカグラ (2月21日)

写真5 マンサク (2月21日)

写真6 メジロ (2022年3月3日)

写真7 シロハラ (2022年3月31日)

写真8 メジロ (2024年12月23日 この後、意識を取り戻して飛んでいきました。)

写真9 トラツグミ (2025年3月1日 いのちたび博物館に寄贈しました。)

写真10 シロハラ (2026年2月26日)



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6



写真7



写真8



写真9



写真10

編集部 ここは、野鳥の通り道でしょうか。野鳥が好む環境があるのですね。衝突防止の方法もあるといいのですが。

## 会員からの投稿 (2) 秋山芽生子 2026年2月の活動から

博多湾の東部を中心に活動中です。皆さん、博多湾でたくさんの生きものと触れ合いませんか。

雁ノ巣の砂洲と博多湾東部の穏やかな海、其の奥に立花山



思案中のカワセミ



ダイゼン



ミヤコドリの大群



菜の花でミツバチが働いていた



何の芽生えかは、しばらく待つ



## 会員からの投稿（3） 田村耕作

福岡市西区の市内から日向峠に向かう金武地区にある「かなたけの里公園」が舞台です。市民農園を中心に運営がなされています。

ここで、毎月1回第3木曜日の午前中、毎回10数名の参加者が鳥類、花、虫などの生きものを楽しみにしつつ、記録しています。

主催は、グリーンシティ福岡の志賀壮史（ナイス福岡会員）です。1/15（木）、2/19（木）の様子、一部紹介します。

1/19の場合

散策の様子（この日は14名参加）



ビンズイ

タブの木の葉の上で、蜘蛛がアブを捕獲した



散策の様子

ウスタビガの繭



## 2/19 の場合

ハゼの実を食べていたシロハラ



ゴマダラチョウ幼虫



杉の小枝で光、カメムシの仲間



お昼頃、花が開くノハラツメクサ



ハイタカ



### 会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2025年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 [01760-9-15783](tel:01760-9-15783)

### 定例会

次回の定例会は、**令和8年4月10日(金)午後2時**より事務局で行います。令和8年4月号の原稿は、**4/7(火)までに届くよう**にお願いします。**なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。**

編集後記 2026年2月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業。

その昔、1980年代のはじめ頃博多湾西部で目撃があり、瑞梅寺川河口一体で越冬期の個体数が増えています。ところが、最近では、海から離れたため池でも目撃例が増えています。長い目で見てみると、野鳥たちの生活の様子も変化しているようです。

クロツラヘラサギ(左)ヘラサギ(右)  
城南区の永浦池にて3/5 撮影:田字草

